

## 経営戦略に基づく取組内容について

- (1) 健康づくり支援戦略戦略 ～心と身体健康づくりに向けた総合的な事業展開～
- (2) 未来投資戦略 ～未来に希望を持てる施策の推進～
- (3) 子育て環境充実戦略 ～健やかな成長・学力向上に資する環境整備～

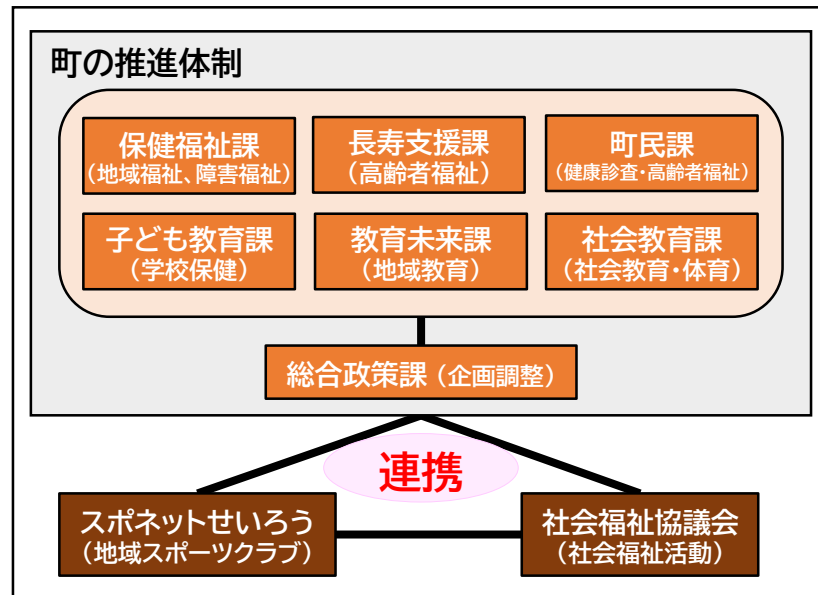
## 1 関係団体等との連携による健康づくりの推進

### ① NPO法人や社会福祉協議会との連携

(特非)スポネットせいらう、町社会福祉協議会、その他関係団体及び庁内関係各課から構成する健康づくりに関する協議会(イメージは右図のとおり)を立ち上げ、各分野の専門的視点を取り入れながら有機的に連携し、スポーツ・文化等の多方面から事業の企画・運営を行う。

### ② 健康づくりに係る企画調整部門の設置

上記①による協議会の枠組みの中で、健康づくり関連事業を総合的・有機的に推進するための企画調整部門を設置し、種々の取組の検証、マネジメントを行うことにより、年齢や障がいの有無に関わらず、生涯を通じた「心と身体健康づくり」を推進する。



## 2 誰もが生涯健康に暮らせるためのサービスの提供

### ① ライフステージごとのニーズを踏まえた的確なサービスの展開

公的に提供されている保健福祉サービスを体系的に整理し、世代間・制度間のバランスや、他市町村と比較しての妥当性を考慮しながら、ライフステージごとのニーズに過不足なく対応できるようにする。

### ② 健康寿命の延伸に向けた各種事業の実施

「予防」の視点に重点を置き、地区担当保健師や保健推進員、食は味楽来(ミラクル)サポーター等の活動を推進することにより、妊娠期・乳幼児期から高齢期まで生活習慣に関する意識づけを行い、地域ぐるみ・家族ぐるみでの健康づくりを支援する。

また、総合健診事業と重症化予防事業、子ども家庭相談ネットワーク事業と母子保健事業などの関連する事業を連動させるとともに、健康づくりに係るインセンティブを提供できるような取組(健康づくりポイ活事業等)を強化し、町民の暮らしに密着した事業の展開を図る。

### 1 地域産業の振興に向けた支援

#### ① 農業の生産基盤の強化

農地の保全及び担い手の経営安定対策として、基盤整備事業の促進、主食用米から非主食用米への誘導、収入保険の加入促進等の支援を行う。

#### ② 安定して続けられる漁業の促進

漁船や漁具などの保管・保全と継続的な漁業資源づくりのため、関係機関と連携し、船だまり及び周辺の漁業施設の整備の促進と種苗放流等による漁場づくりの継承を支援する。

#### ③ 商工業・観光の振興

融資制度の活用に対する利子補給及び信用保証料補助や、町商工会を通じた経営指導の促進により、中小企業・個人事業主の経営を支援する。

また、町有施設(ざぶ～ん館、海のにぎわい館等)をにぎわいのある魅力的な施設に変えていくための検討と民間活力も利用した地域資源の活性化を図る。

### 2 安全・安心なまちづくりの推進

#### ① 防災対策の充実

防災行政無線の整備とアレルギー対策や感染症対策を踏まえた備蓄品を拡充し、防災機能を強化する。  
また、防災訓練を充実させるなど、町民と協働した地域の防災力を高め、災害対処力を強化する。

#### ② 子どもたちの安全を確保するための学校園の施設改修

普通教室以外への空調設備の拡充、屋上防水・外壁の改修、高圧受電設備の更新等、学校園の施設を適切に改修し、安全で安心できる教育環境の整備を図る。

#### ③ 公共施設の長寿命化

老朽化する公共施設について、長期的視点に立ち、施設ごとにその必要性や利用状況、維持管理費等を包括的に検討し、長寿命化や統廃合に計画的に取り組む。

### 1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備

#### ① 子育て支援の拡充

身近な相談相手として、地区担当保健師とのつながりを妊娠期から継続的に提供し、子ども家庭相談センターや子育て支援センターとも連携して活動に取り組むことにより、子育てに関する疑問や不安の解消に努める。

#### ② 医療費・給食費の保護者負担の軽減

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和5年4月より0～2歳児の医療費を無償化するほか、物価高騰に起因する給食費の上昇分の支援を検討する。

#### ③ 町民ニーズに合わせた一時預かり保育の拡充

町民ニーズを踏まえ、一時預かり保育の実施場所を拡充し、利便性を高めるとともに、誰でも利用できる乳幼児の屋内遊び場を確保する。

### 2 子ども一人ひとりに合った総合的支援体制の構築

#### ① 放課後支援の拡充

放課後児童クラブの利用料金を見直すほか、子どもたちの放課後のあり方を総合的に支援する体制を構築し、子どもの健やかな成長と保護者の就労を支援する。

#### ② 民間・地域人材の活用による学力向上

民間企業のノウハウや地域の人材による学習や部活動の支援を取り入れ、教員の負担軽減を図り、子どもと向き合う時間と授業に対する研鑽時間を確保し、思考力向上につながる基礎学力の向上につなげる。

また、ICT機器の活用等の時代に即した教育の推進、学ぶ楽しさ・コツを得る機会の提供などにより、多様な資質・能力を有する子どもたちを誰一人取り残すことなく、確かな学力の定着と向上を図る。